

'17. 2. 26

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

http://tosaren.web.fc2.com/index.html

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

**第20回 東京都のろう教育を考えるフォーラム
「参加記」**

フォーラムは、東京都聴覚障害者連盟と東京都のろう教育を考える会の共催です。協力団体は、東京都手話通訳問題研究会、全国要約筆記問題研究会東京支部と共に、都サ連も名を連ね、高田代表が実行委員として加わっています。2月19日(日)穏やかな冬晴れの午後、渋谷区リフレッシュ氷川には、ろう教育に関心のある方々が、関係者を含めて100名にも届こうとするほど参集しました。定刻、いつもの蝶ネクタイスタイルの春日実行委員長司会の下、開会しました。講演は特別講演を含めて三本立て、とても盛り沢山です。

**①「明晴学園で実施しているバイリンガル・バイカル
チュラルろう教育について」**

講師：学校法人明晴学園 校長 榎 陽子氏

2008年、ろう者の夢を現実のものにと明晴学園が開校してから10年。言語(手話と日本語)も文化(ろう文化と聴文化)も、多様に併せ持つことを教育目標とし、日々の実践活動、研究活動、新たな発見、さらに実践活動の進化など、児童・生徒たちのビデオ投影も含めてお話がありました。

かつてのろう学校卒業生としてのご自身の思い、心の中に築き上げてきた理想、国内外で培った博識さ、実践活動を通しての確信など、10年を経て、広く、高く飛躍した学園の様子が伝わってきます。ろうの子どもたちの明るい未来が見えてきます。

2017年度は、5月からまた月一回の学校見学ツアーが行われるそうです。生き生きとした子どもたち、先生たちに会いに行きたくなりました。

②「新宿日本語学校で実施しているろう教育への取り組みなどについて」講師：学校法人江副学園 新宿日本語学校
校長 江副 隆秀氏

仕事は、外国人に日本語を教えること、妹一家はデフ・ファミリーとの自己紹介。

日々の仕事の中で、独自の日本語教授法を編み出されていきます。それは「助詞」を可視化する方法。それがろう学校教師の目に止まり、都立大塚ろう学校に導入

されることになったそうです。

‘見てわかる’教授法であるのは、妹さんの存在と、先生の幼少体験の賜と推察します。音声情報が届かず、視覚情報だけの妹さんに対し、お兄さんはひたすら通じる方法を工夫されたのだろうと想像します。

可視化した『重箱カード』(実用新案登録)はろう学校へは無償で提供すべきとお考え。ただし、『江副文法』であることを明確にし、使用法を十分に学習、理解する必要があるそうです。

ろう者が能力を発揮して光り輝くため、言語を磨く一助になればとの、先生の思いがビンビン伝わってきました。

③「金町学園の閉園について ～経過と現状～」

講師：社会福祉法人東京愛育苑金町学園

園長 濱崎 久美子氏

平成30年閉園と言われて一年経ったが、現況は混沌としている。設立準備会は、子どもに合わせて様々な支援のできる施設を目標に奮闘中、今後共ご支援をとのお話でした。

長きにわたる聴覚障害者運動のノウハウをいただきながら、支援に結びつけばいいなと願っています。運動の具体的方向が示されたら、協力していきましょう。

(林 記)

参政権保障委員会報告(2017/2/20)

- 7月2日の都議会議員選挙に向けて
 - 都選管から『事務処理の手引』が送られてきた後で、内容について確認をする。
 - コミュニケーションボードの設置状況について
都サ連の調査については、1月の都選管との懇談会で報告済み。
都議選時については、都サ連・東聴連・中難協で設置状況について調査をする。
 - 要約筆記は屋内投影についてのみ可能であるが、今後の屋外での投影についても研究を進める。
- 参政権委員会の学習会実施について
 - 都選管が出前講座を実施可能であることから、学習会を検討する。
 - 「障害を持つ人の参政権委員会」が学習会実施予定。
詳細が分かったら周知をする。
 - 「障害を持つ議員連」との懇談会についても今後検討をする。
- 都選管から、全日本ろうあ連盟が提示している「手話マーク」「筆談マーク」について問い合わせがあったが、回答に苦慮している。昭和50年に制定した全難聴の「耳のシンボルマーク」もあるので、混乱が生じる恐れがある。もう少し様子を見ていく必要がある。

4) 次回会議3月20日(月・祝)

(参政権保障委員 高田)

自立支援センター運営委員会

【1月14日(土)・2月18日(土)報告】

○事務局

- ・一般事務のアルバイト募集中!
- ・監事1名を東聴連から選出の予定
- ・予算案

○自立支援事業部

- ・相談支援事業(就労支援事業・就学支援事業・その他)
- ・職業訓練 2017年度も継続

○手話啓発事業部

- ・2017年度事業について
- ・上級手話講習会 6クラスで募集受付中
- ・素晴らしい手話の世界への招待
6クラスで開催予定
- ・特別講演会講師希望があればお知らせください

○センター啓発事業

- ・第46回耳の日文化祭(3月4日・5日)
模擬店でお汁粉と甘酒を販売 バザー
- ・センターまつり 2017年7月17日(月・祝・海の日)
実行委員長/田原直幸、副実行委員長/高田直樹

○次回運営委員会は3月11日(土)10～12時
(文責:高田・杉石)第41回 聴覚障害者施策推進地域担当会議
兼 ミニ講演会&上映会 報告(12月25日)

- ・講演「アニメ『聲の形』手話監修で思ったこと」
～手話動画作画の困難さ、
聴覚障害者にとっての字幕～
講師:東京都聴覚障害者連盟事務局長
越智大輔氏
- ・『段また段を成して』上映
- ・プレゼント抽選「じゃんけんゲーム」

地域担当者会議

- ①当会議について、各地域の担当者再登録を依頼。
(3月まで延期して受付中)
- ②11/13 TOKYO みみカレッジは、参加者500名超で盛況。都は啓発動画作成を企画中。
- ③聴覚障害児入所施設建設のための募金活動開始。
署名15,000筆は国と都へ提出準備中。
- ④「東京都 ICT 遠隔手話通訳モデル事業」は利用者が僅少で、3年後の実施が危うい。利用に協力を。
- ⑤全日本ろうあ連盟は、手話マーク・筆談マークを決定。
- ⑥『We Love コミュニケーション』と『よりよい手話通訳』パンフレットの販売
- ⑦全国手話研修センター後援会入会への周知と勧誘の依頼。

(文責:高田・林)

第113回 福祉対策会議報告(2月6日)

- ・東京都は2017年度予算を発表。「TOKYO みみカレッジ」は2017年11月に開催予定。
- ・東聴連は、2017年度事業日程案作成。
- ・1/29(日)臨時総会&区市長会議を開催。
- ・3/4～5 耳の日記念文化祭は、会場が工事中のため縮小して行う。入場制限が必要になるかもしれない。
2/18(土)に要員説明会を行う。
- ・2/5(日)東京都手話通訳問題研究会研修会(東聴連と共催)は、参加者126名。午前:講演会(講師:川上恵氏)
午後:グループディスカッション(医療の通訳事例検証)。
今回、都サ連の一日研修会と重なったが、今後、行事の日程調整が必要。
- ・東京都中途失聴・難聴者協会より、全日本ろうあ連盟の「手話・筆談マーク」と全日本難聴者・中途失聴者団体連合会の「耳マーク」使用について、さらなる協議の提案。清瀬高校推薦入試の情報保障問題に課題。2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、「筆談器あります」の英語表記を決定。
- ・東通研は4/16(日)総会。午前『段また段を成して』上映会&監督の講演会の予定。
- ・都サ連は、2/5(日)の一日研修会を報告。熊本県と福島県からゲストを迎え、講演会&パネルディスカッションを行った。今後、関東における手話サークル連絡協議会のつながりを模索したい。(東聴連より、関東の範囲で市町村聴覚障害者協会の有無、手話サークルの存在、派遣制度について調査中との報告があった。)
- ・聴覚障害児入所施設について。2017年度の補助金見込みなし。都から愛育苑に対し、平成30年度の閉園を認めないという指導が入るよう。

【その他】

- ・2/4(土)気象庁見学は好評のうちに終了。回を重ねる毎に内容が良くなっている。
- ・2/19(日)「東京都のろう教育を考えるフォーラム」開催。
- ・2/25(土)東聴連災害対策会議開催。

*第114回 福祉対策会議予定:3月6日(月)記録:都サ連

*第42回 地域担当者会議予定:3月30日(木)19:00～
於:リフレッシュ氷川

(文責:高田・林)

『来年度都サ連の会議室の借用について』

自立支援センター運営委員会承認された。
会議日程表を別途提出予定。

第46回耳の日記念文化祭

東京都障害者福祉会館・港区立港勤労福祉会館

<3月4日(土)>12:00～17:00

*ナイトバー 17:00～20:00

*当日16時から入場整理券を配布します。

<3月5日(日)>10:00～15:00

参加券500円(2日間通し)